

## にしおマラソン 2022

### 新型コロナウイルス感染症対策運営計画書

---

#### I. 大会概要における制限と判断基準

##### 参加人数の制限

- ①定員を当初予定の 8,000 人から 4,000 人へ変更
- ②ステージイベントや表彰式などのイベントを縮小

参加人数は 5,000 人以下とすること。これに加えて、屋内にあっては収容定員の半分程度以内、屋外にあっては人と人との距離（できるだけ 2m）を十分確保できること。

#### II. 大会参加における感染症対策（事前）

- ① 参加者および会場来場者は開催日の 1 週間前より自身の体調チェックと検温をおこない

ワクチン接種証明書、もしくは 72 時間以内の陰性証明書（PCR 検査等）の提出を設ける。

また、「体調チェックシート（WEB または紙）」に記入すること。「体調チェックシート」は当日、検温所にて提出すること。検温所は西尾市文化会館に 2 箇所、南駐車場スタート会場に 1 箇所設ける。

- ②参加者および会場来場者は厚生労働省の新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」をインストールすること



- ③以下の事項に該当する場合は、参加の見合わせを求めます。（選手、スタッフ同様）

- ・ 37.5 度以上の発熱がある場合
- ・ 強いだるさ（倦怠感）や息苦しさがある場合
- ・ 普段より咳、痰がある場合、咽頭痛などの症状がある場合
- ・ 味覚、嗅覚に異常を感じる場合
- ・ 同居家族に感染が疑われる場合
- ・ 糖尿病などの基礎疾患があり、当日の体調に不安のある場合
- ・ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

- ④新しい生活様式、日本陸上競技連盟「ロードレース開催についてのガイダンス」等の趣旨に沿った対策、主にアスリートビブス（ゼッケン）の事前発送、完走証の Web 化を徹底します。

### Ⅲ. 大会運営における感染症対策

- ①大会運営は以下の対策を行います。
- ・会場にトイレはありますが、使用前後に際して主催者が指示する手指その他の消毒方法に従っていただきます。
  - ・スタッフは常時マスクを着用します。
  - ・特に参加者と対面するスタッフはフェイスシールドと手袋を着用します。
  - ・参加者は走行中以外の会場内ではマスクを着用してください。(スタート整列時含みスタート後 100m地点までお願いする)
  - ・会場入場時に検温を行い、37.5 度以上の方は出走をお断りし、会場からの退場をお願いします。
  - ・会場、コースともエイドステーションでの給水、給食の手渡しは行いません。
  - ・途中収容された場合は、主催者指定の手指消毒とマスクを着用いただきます。
- ②こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施してください。
- ③他の参加者、主催者スタッフとの距離を確保してください。(障がい者の誘導や介助を行う場合を除く)
- ④会場やコースにおいて大きな声で会話、応援をしないでください。
- ⑤感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従ってください。
- ⑥イベント終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに連絡し、同時に濃厚接触者の有無についても報告してください。
- ⑦後日参加者、大会関係者の中から感染者が出た場合には、保健所などの聞き取り調査に協力していただきます。

### Ⅳ 会場関連

- ①会場案内
- ・飛沫拡散防止のため、録音マイクなどを使用



- ②対策サインの徹底
- ・会場内にて、マスク着用・アルコール消毒協力の看板サインなどを多数提示



- ③会場内屋外仮設トイレ
- ・手指消毒、待機時のソーシャルディスタンス
  - ・トイレはアスリートビブス (ゼッケン) 番号で指定し、分散

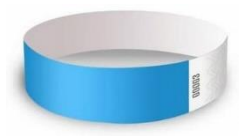
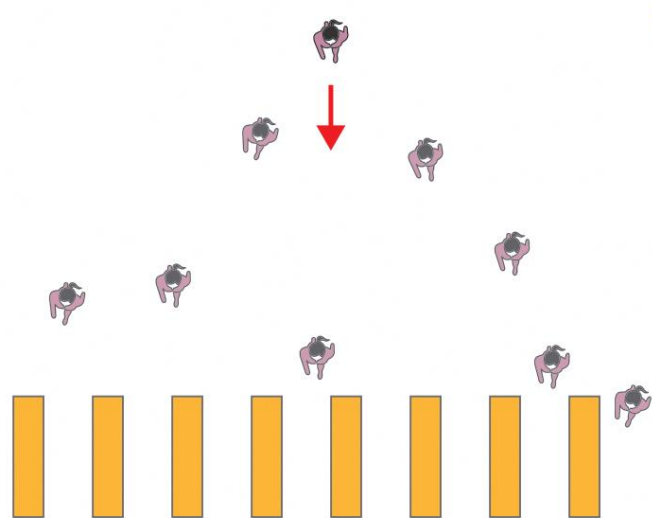
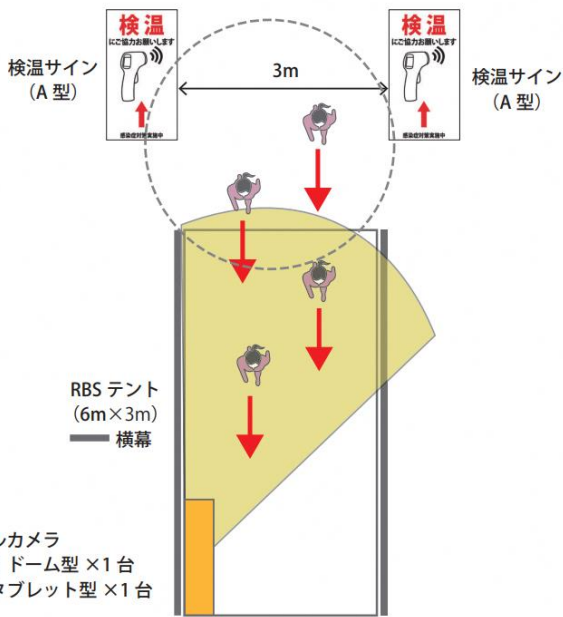


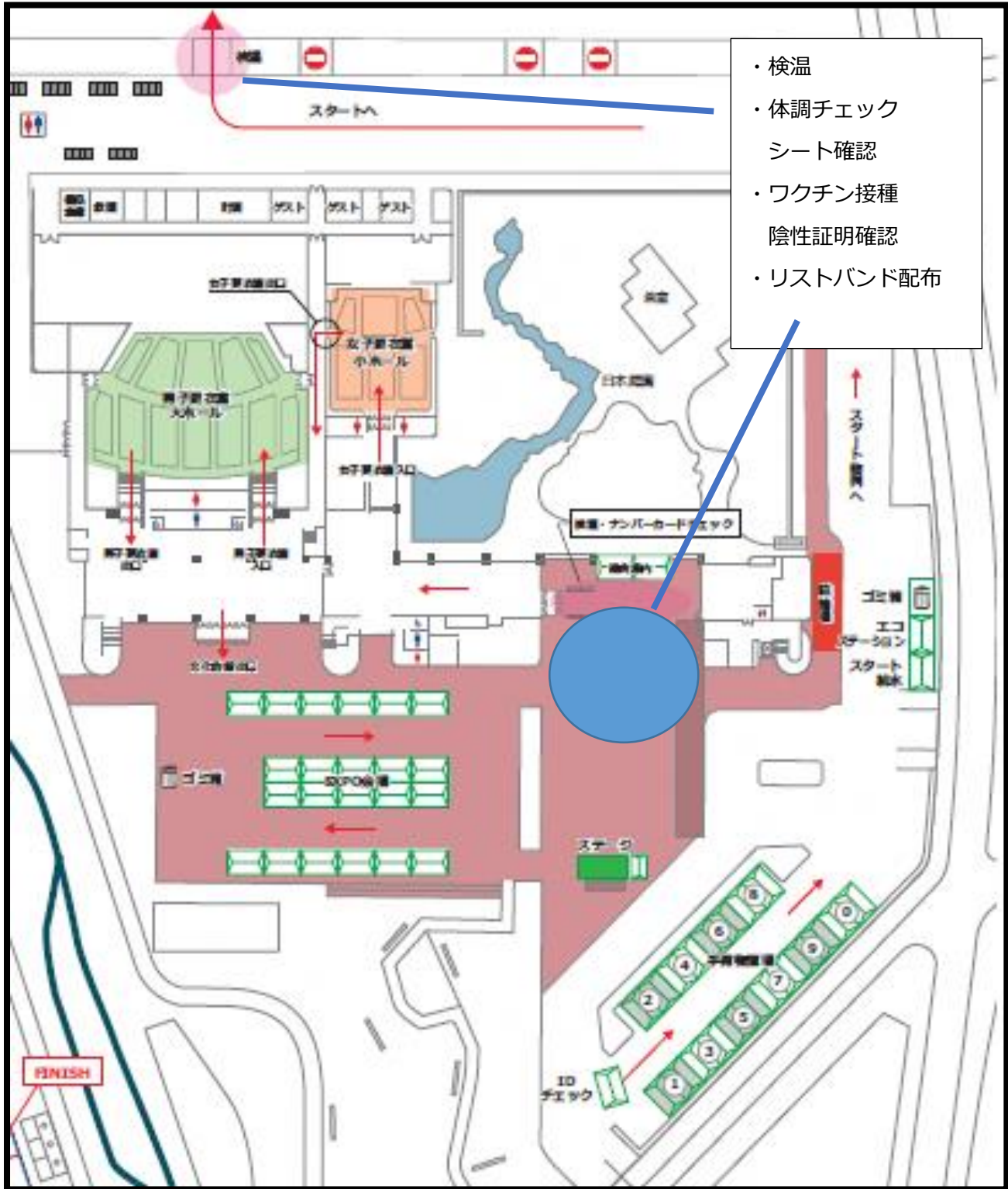
④会場関連

- ・ 入場ゲート（文化会館 2 箇所、文化会館南スタートゲート 1 箇所）を設け、来場者は必ず検温および手指消毒、参加者は体調チェックシートの提出を義務付ける。
- ・ 総合案内所および受付にてフェイスシールドを用意し、希望者に配布（ランナーが装着して走る用）
- ・ ピーク時の入室制限。コントロールを実施（荷物預け、）

▼サーモグラフィーによる検温▼

▼体調チェックシートの回収・証明バンド渡し▼



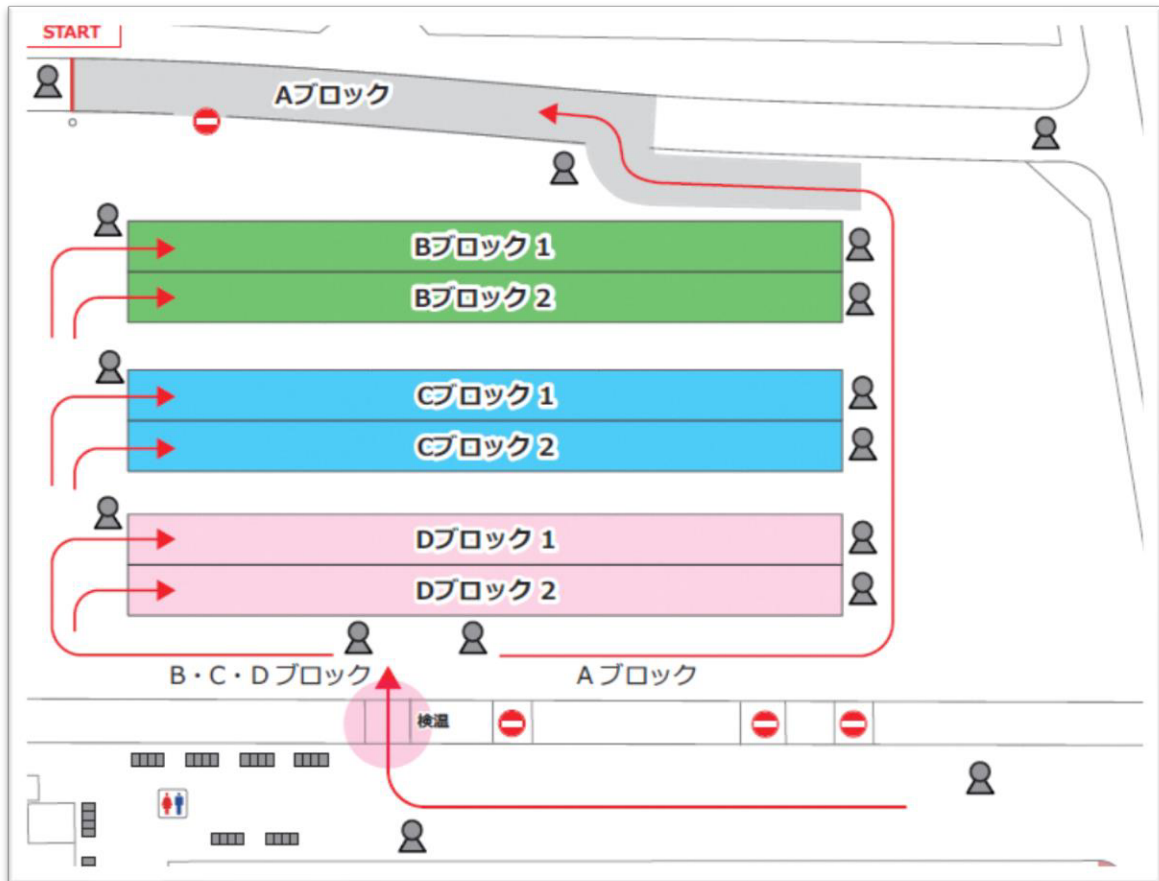






## V スタート会場

- ・スタートはウェーブスタートを導入
- ・出走後まで参加者へはマスクの装着を義務付ける
- ・スタート待機列へマーキングを行いスタート時の密集を避ける。



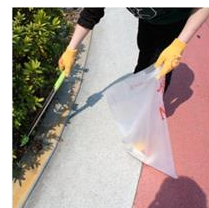
※4,000人を4ウェーブへ分割するスタートを実施することにより、スタート時の密集度を1㎡1以下としています。

## VI コース・給水

- ・コース上仮設トイレも全て手指消毒できるように消毒液を設置
- ・沿道での応援自粛を要請
- ・トイレを2.5kmごと配置し、分散を促す
- ・給水カップへは蓋つきで提供。給食も個包装されているものを提供
- ・防護服カッパ、フェイスシールド、トング、熊手用意



※蓋つき給水コップ

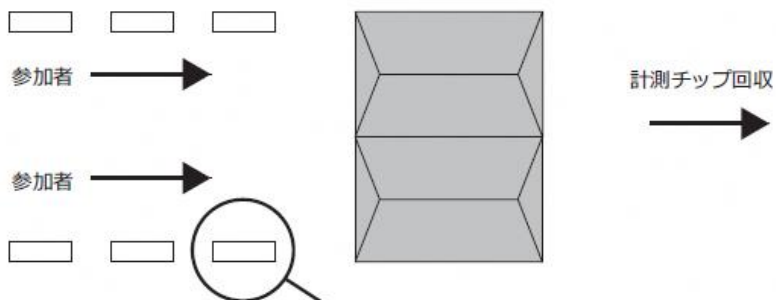


※トング・熊手

## Ⅶ フィニッシュ

- ①手指消毒
- ②個包装マスクを渡し、装着してもらう
- ③完走記念メダル、ペットボトル（スポーツドリンク）、チップ外し

※全て机に設置したものを選手が自身でピックアップする。基本手渡しはしない。



- ・ペットボトル1本を配布。
- ・必ず参加者にとってもらう。
- ・不足しないよう随時補充する。

